

研究所アドバンスドセミナー

院内職員のごなたでも来聴歓迎です

講師：

大槻 元 先生

京都大学大学院医学研究科
創薬医学講座・特定教授

講演タイトル：

「母体免疫活性化と思春期周辺ストレスによって生成された小脳の反応性ミクログリアは精神疾患症状と学習障害を引き起こす」

概要：

これまでの疫学的調査から、ヒト精神疾患は単一のストレスによって発症するものではなく、持続的・複合的な要因が積み重なることで発症に至ると考えられている(“複合要因モデル”) (Debost et al., 2017 Schizophr Bull; Giovanoli et al., 2013 Science)。本講演では、妊娠期の感染症を模倣した母体免疫活性化と発達期に慢性社会敗北ストレスを受けた動物(2ヒットマウス)の生物学的相乗機序を明らかにし、統合失調症や発達障害様の幅広い認知・行動・学習異常とその性差に関わるレジリエンス、脳領域選択的ミクログリア置換による回復を紹介する。

日時：令和 6年 6月13日(木)

16:00 から

場所：研究所 6階 会議室

問い合わせ：

研究所 藤木 内線5402